【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2002-108843(P2002-108843A)
【公開日】平成14年4月12日(2002.4.12)
【出願番号】特願2000-297063(P2000-297063)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　17/14
　Ｈ０３Ｍ　 7/30
　Ｈ０４Ｎ　 7/30
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　17/14　　Ｓ
　Ｈ０３Ｍ　 7/30　　Ａ
　Ｈ０４Ｎ　 7/133　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成16年9月10日(2004.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　プロセッサと、Ｎ（Ｎ＝２^{n}　ただし、ｎは自然数）点離散コサイン変換処理を含むプログラムと、該離散コサイン変換処理を施すデータとを格納するための記憶装置とを含むデータ処理装置において、
　該離散コサイン変換処理を、前後処理の追加により、２^{k}（ｋは自然数）回のＮ／２^{k}点離散コサイン変換処理に分割し、
　該前後処理は、前記２^{k}（ｋは自然数）回のＮ／２^{k}点離散コサイン変換処理のための離散コサイン変換係数行列の少なくとも２つの係数行列が同一となるように施されるものであり、
　該プロセッサは、該離散コサイン変換処理を施す該データを該記憶装置から読み出し、該記憶装置に格納された該プログラムに基づいて、該前処理と、２^{k}（ｋは自然数）回の該Ｎ／２^{k}点離散コサイン変換処理と、該後処理とを行うことを特徴とするデータ処理装置。
【請求項２】
　請求項１記載のデータ処理装置において、該前処理は、バタフライ演算であり、該後処理は加算処理であることを特徴とするデータ処理装置。
【請求項３】
　請求項２記載のデータ処理装置において、８点離散コサイン変換処理を、２個の同一係数行列の４点離散コサイン変換処理に分割したことを特徴とするデータ処理装置。
【請求項４】
　請求項２または請求項３記載のデータ処理装置において、３次元グラフィクス変換処理の４行４列行列と４元ベクトルの乗算のための処理装置をさらに備え、
　前記処理装置は、前記分割された離散コサイン処理を実行することを特徴とするデータ処理装置。
【請求項５】
　請求項１から４のいずれか１項記載のデータ処理装置において、該記憶装置と該プロセ

ッサとを同一チップ上に集積したデータ処理装置。

【請求項６】

プロセッサと、N（N＝２^{n}（ｎは自然数））点逆離散コサイン変換処理を含むプログラムと、該逆離散コサイン変換処理を施すデータとを格納するための記憶装置とを含むデータ処理装置において、

該逆離散コサイン変換処理を、前後処理の追加により、２^{k}（ｋは自然数）回のN／２^{k}点逆離散コサイン変換処理に分割し、

該前後処理は、前記２^{k}（ｋは自然数）回のN／２^{k}点逆離散コサイン変換処理のための逆離散コサイン変換係数行列の少なくとも２つの係数行列が同一となるように施されるものであり、

該プロセッサは、該逆離散コサイン変換処理を施す該データを該記憶装置から読み出し、該記憶装置に格納された該プログラムに基づいて、該前処理と、２^{k}（ｋは自然数）回の該N／２^{k}点逆離散コサイン変換処理と、該後処理とを行うことを特徴とするデータ処理装置。